

平成24年10月15日

淡路市長 門 康 彦 様

淡路市行政改革等審議会  
会 長 打 土 井



## 淡路市の行財政改革について（提言）

平成24年度の淡路市における行財政改革の状況について、行政改革推進本部から本審議会に報告を求め、慎重審議し内容をまとめたので、今後の淡路市行政の改善に資するため、淡路市行政改革等審議会条例第2条第3号に基づき、下記のとおり提言する。

### 記

市制発足8年目を迎えた淡路市であるが、世界的な経済不況の中、いまだ財政状況は好転せず、先に公表された自治体の財政状況を示す平成23年度決算における「実質公債費比率」は3ヶ年平均の数値で22.7%、「将来負担比率」が269.3%と、共に昨年に比し、若干の数値の下振れが見られる。両数値とも早期健全化団体となる基準数値を下回ってはいるものの、予断は許さない。今後合併10年目からは、地方交付税が削減されることから、一層の努力による行財政運営の適正化が求められている。

私たち委員は、合併8年目を迎えた淡路市が、今後も私たちのふるさとであり続け、市民全てが心をつにし、豊かな生活を築きあげ、美しい景観と自然を守り、安全、安心な町を作るために、市民目線からの今後の市の行財政運営について審議を重ねてきた。この度その審議の成果を取りまとめたので、ここに示し、「いつかきっと帰りたくなる街づくり」の一助となることを期待するものである。

これまでも、営々と行財政改革への取組が行われてきたところであるが、本審議会では一層の改革の進展を念頭に、平成24年度は重点目標として「参画と協働」、「官民連携」の推進をテーマとして、審議、協議を行い、次のとおり委員の意見の一致を見たので、それを取りまとめ以下のとおり提言する。



## 1 事務事業の委託化、民営化の基本方針について

淡路市では事務合理化、経費削減や職員適正化を積極的に進めている。このこと自体は望ましい事であり、審議会として評価するものである。

しかしながら想定を上回る速度で職員の減員が進んでおり、短期間での急激な職員の減員による、市民サービスの質、量とももの低下を危惧するところである。

それを防止し、一層のサービス向上を図るため、当審議会ではあらゆる事業の民営化、民間委託について積極的に取り組むことを推奨する。

### ① 指定管理制度等の推進

施設の維持管理等については、指定管理制度等の導入を積極的に進め、民間活力の導入による一層のサービス向上を図ること。また、それら事業者を公募するに当たっては、公平性や透明性の確保に十分留意し、積極的に情報を公開していくこと。特に淡路市内の事業者が容易に参画できる環境を構築し、地元での新規起業や新規雇用が期待できるような手法を検討すること。

### ② 民間活力の導入

事務事業を精査し、従来当然のこととして直営で行ってきたものであっても、官民連携の様々な手法を検討し、常識にとらわれることなく民営化を進めていくこと。特に民間と競合する事業、又は市が直営で事業を行っているため民間事業者の参入を阻んでいるものがあれば、早急に民間に委ねること。

### ③ 休止施設等の有効活用

市の不要施設、休止施設等はその存廃を早期に決断し、その資産価値を考慮に入れ、有償、無償での譲渡を進めること。特に、企業誘致を目的とするなど淡路市の活性化に繋がる場合、又は市が直接保持するより民間に譲渡した方がサービス向上を期待できる施設は、無償での譲渡を進めるなど、市の資産のオフバランス化（資産を貸借対照表から抹消すること）を図ること。

### ④ 住民サービスの堅持

直営事業の内、民間によるサービスの提供が期待できないものについては、引き続き市が責任をもって継続すること。また、民営化が住民サービスの低下につながらないよう十分な配慮をし、民営化後のフォローアップをしていくこと。

以上4点を着実に進めて頂きたい。

## 2 参画と協働に基づいた市民交流のまちづくりについて

今、行政と市民の在り方を考えるにあたり、市民の中に「何でも行政がしてくれる。」という思い込みがあるように思える。しかし、国も地方も財政がひっ迫する中、地域住民自身が自らの力で地域の問題を解決し、閉塞感を打破していく必要があると考える。

市民自身が郷土を愛する精神を発揮し、「自分のまちは自分でつくる」という意識の高揚を図り、地方分権の進展や、地域づくり・まちづくり等に対する市民意識向上の醸成を助け、地域に根ざしたNPOや市民団体を公共サービスの担い手として育て、「長沢ミニバス」や岩屋のコミュニティバス「らくらく号」の事例にあるような、市民の積極的な参加による公共サービスの提供の実現に向け、具体的方策を検討し実行して頂きたい。

## 3 税・使用料等の適正な徴収による財源の確保について

今回の審議会においてまことに残念に感じたのが、歳入の収納状況についてである。市税を始め使用料等の諸収入の収納率が低く、また過年度に比して収納率が漸減しているものが多く、淡路市の厳しい財政状況を考えるときに、あつてはならない事態であると苦言を呈するものである。

今後は、市民の税負担等の公平感を満足させ、安定的に財源を確保する観点から、一体的な収納体制を構築するなど、市の組織を挙げて諸収入の滞納対策に取り組み、膨らみ続ける滞納繰越問題の早急な解決をお願いする。

審議会として実効性のある施策の実施を求め、具体的な成果を挙げていただくよう切に要望する。

## ★ 淡路市行政改革等審議会 記録

### ○ 第1回 審議会開催

平成24年6月14日（木） 【場所】 淡路市役所2F 大会議室1

#### 協議事項

- (1) 行政改革等審議会、行政改革推進部の年間スケジュールについて
- (2) 淡路市の行財政改革への取組状況について
- (3) 事務事業の委託化・民営化方針について

### ○ 第2回 審議会開催

平成24年9月10日（月） 【場所】 淡路市防災あんしんセンター

#### 協議事項

- (1) 平成24年度の提言に向けて

### ○ 第3回 審議会開催

平成24年10月15日（月） 【場所】 淡路市役所3F 委員会室

#### 協議事項

- (1) 平成24年度淡路市への行財政改革の提言について

### ○ 淡路市の行財政改革について（市長へ提言）

平成24年10月15日（月） 【場所】 淡路市役所3F 委員会室